

F Mアップルウェーブ 第85回放送番組審議会

開催日時

平成26年4月19日(土) 12:00~13:00

開催場所

土手町コミュニティパーク(弘前市土手町)

出席委員

委員長 石岡 徹、 副委員長 工藤 茂起
委員 鳴海 清彦、 佐藤 浩之、 渋谷 拓弥

会社側出席者

専務取締役:一戸 勝美、 取締役:倉田 昌直
放送部統括マネージャー:花田 由香子、 放送部チーフ:玉田 雅規

議題

(1)番組に対する意見要望
(2)次回開催日について 6月21日(土)

議事の概要

○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。

1)課題番組 『SEINAN Presents Blues Power』 (毎週金曜 21:30~22:00)

- ① SIDE A ではこれまでとは違って津軽三味線奏者の渋谷さんを迎えての回は、気になっていた三味線のいろいろな話が聴けて興味深かった。地元の間人もあまり知らないような津軽三味線の話があったのが良い。SIDE B では過激な話も出そうなところをパーソナリティがコントロールしていたので良かった。
- ② メインパーソナリティが関西のアーティストで、ゲストが地元の間人という設定が面白い。「ミュージシャン同志」のトークがコアな話に広がって面白かった。選曲がとても良い。気持ち良く音楽が聴ける番組である。
- ③ 「津軽三味線」を「つがるじゃみせん」と言っていたのが残念。「しゃみせん」という正しい読みで紹介してすべき。トークしている二人の声のボリュームが違っていたので調整をしっかりとってほしい。トーク中に聴き取りにくい発音があるので、注意してほしい。
- ④ 「ソウル」と「魂」のつながりからと思われる、ブルースと津軽三味線のコラボという発想が素晴らしい。その地に伝わる芸能の素晴らしさをもっと掘り下げて「地域の魂」を伝えていくべき。笹森建英先生に津軽に伝わる音楽などの話を聞いてほしい。昔を思い出せる選曲がすばらしい。放送する時間帯も良い。
- ⑤ 他局にも流れている番組で郷土が誇る音楽である津軽三味線を取り上げたのが良い。渋谷さんの苦労話や歌の背景などの話も聞きたかった。津軽三味線に対する新しい発見がたくさんあった。津軽が誇る音楽を大事にしてほしい。三味線のアドリブ演奏などはブルースと共通するものが多いと感じた。体に染みついているような懐かしい音楽・フレーズが流れていて良い。他局に流れていることを考えると、津軽弁の話は理解されるのかが心配だが、フォローもあったので津軽弁のままやってほしい。

【審議機関の答申または改善】

津軽三味線のような伝統芸能・音楽をしっかり掘り下げて伝えられるような内容のものを制作し、残していくべき。

【審議機関の答申または改善意見の公表】

- 1) 議事録を本社に配備し、社内各部署に配布
- 2) FMアップルウェーブのホームページに掲載